

四 半 期 報 告 書

第89期
第1四半期

（ 自 平成23年4月1日
至 平成23年6月30日 ）

アイシン精機株式会社

E01593

目 次

	頁
第89期第1四半期 四半期報告書	
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
(1) 【四半期連結貸借対照表】	8
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	10
【四半期連結損益計算書】	10
【四半期連結包括利益計算書】	11
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	15
四半期レビュー報告書	
当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間	17
確認書	19

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年8月9日

【四半期会計期間】 第89期第1四半期（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

【会社名】 アイシン精機株式会社

【英訳名】 AISIN SEIKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 藤森 文雄

【本店の所在の場所】 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)24—8265番

【事務連絡者氏名】 経理部長 朝倉 克己

【最寄りの連絡場所】 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)24—8265番

【事務連絡者氏名】 経理部長 朝倉 克己

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第1四半期 連結累計期間	第89期 第1四半期 連結累計期間	第88期
会計期間	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 6月30日	自 平成23年 4月1日 至 平成23年 6月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日
売上高 (百万円)	569,613	457,060	2,257,436
経常利益 又は経常損失(△) (百万円)	48,136	△1,471	147,894
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△) (百万円)	21,538	△615	69,643
四半期包括利益 又は包括利益 (百万円)	18,751	8,199	70,877
純資産額 (百万円)	880,687	913,351	917,704
総資産額 (百万円)	1,973,768	1,939,889	1,978,225
1株当たり四半期 (当期)純利益 又は1株当たり四半期 純損失(△) (円)	76.53	△2.19	247.46
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	33.3	35.4	34.7

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていません。
- 3 第88期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。
- 4 第88期第1四半期連結累計期間および第88期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益の算定にあたり、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。
- これにより、潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。
- 5 第89期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における当企業グループの経営環境は、東日本大震災の影響で得意先カーメーカーの生産台数が総じて前年同期を下回るなど、厳しい状況になりました。加えて急速な円高の進行など、当企業グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いています。

このような中、「減産下でも確実に生き残れる企業体質への転換」に向け、製品1個当たりにもで遡った生産性の向上や固定費の削減に全力で取り組んでまいりました。また、中長期的な視点に立てば、新興国の世界市場における存在感の高まりや、持続可能な社会の実現に向けた社会ニーズの変化など、企業経営は大きな変革点に差し掛かっており、将来にわたって安定的で持続的な成長をはかるため、社会環境の変化やお客様のニーズを先取りした新商品の開発と拡販、ならびにグローバル市場での事業基盤の強化に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の売上高については、震災に伴う得意先の稼働状況に応じた生産調整などにより、前第1四半期連結累計期間（5,696億円）に比べ19.8%減の4,570億円となりました。

利益については、企業体質改善活動の成果はあったものの、売上高の減少が大きく、営業損失は48億円（前年同四半期営業利益430億円）、経常損失は14億円（前年同四半期経常利益481億円）、四半期純損失は6億円（前年同四半期純利益215億円）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりです。

① アイシン精機グループ

売上高については、前第1四半期連結累計期間（2,767億円）に比べ23.8%減の2,109億円となりました。利益については、50億円の営業損失（前年同四半期営業利益162億円）となりました。

② アイシン高丘グループ

売上高については、前第1四半期連結累計期間（532億円）に比べ17.4%減の439億円となりました。営業利益は前第1四半期連結累計期間（37億円）に比べ85.2%減の5億円となりました。

③ アイシン・エイ・ダブリュグループ

売上高については、前第1四半期連結累計期間（2,105億円）に比べ16.8%減の1,751億円となりました。営業利益は前第1四半期連結累計期間（177億円）に比べ大幅に減少し、1億円となりました。

④ アドヴィックスグループ

売上高については、前第1四半期連結累計期間（986億円）に比べ20.7%減の782億円とな

りました。利益については、2億円の営業損失（前年同四半期営業利益35億円）となりました。

⑤ その他

売上高については、前第1四半期連結累計期間（400億円）に比べ17.1%減の331億円となりました。利益については、6億円の営業損失（前年同四半期営業利益14億円）となりました。

(2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当企業グループの研究開発費は、総額291億円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当企業グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(3) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度末時点で未定であった当連結会計年度の設備の新設、除却等の計画について、以下のとおり決定しました。

設備投資予定額は1,700億円ですが、その内容は得意先のモデルチェンジに対応した新製品・改良製品への投資および新技術・新製品等の研究開発が主要なものであり、セグメントごとの内訳は次のとおりです。

セグメントの名称	投資予定額 (百万円)	主な設備投資の内容
アイシン精機グループ	68,500	ボディ関連製造設備、エンジン関連製造設備等
アイシン高丘グループ	21,700	鋳造設備等
アイシン・エイ・ダブリュグループ	66,500	ドライブトレイン関連製造設備等
アドヴィックスグループ	8,000	ブレーキ及びシャシー関連製造設備等
その他	5,300	ドライブトレイン関連製造設備等
合計	170,000	—

(注) 1 所要資金については、自己資金等により充当する予定です。

2 経常的な設備の更新に伴う除却等を除き、生産能力に相当程度影響を及ぼす除却等の計画はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	700,000,000
計	700,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月9日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	294,674,634	294,674,634	東京・名古屋各証券取引所市場 第一部	単元株式数 100株
計	294,674,634	294,674,634	—	—

(注) 提出日現在の発行数には、平成23年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	—	294,674	—	45,049	—	62,926

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

① 【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,202,200	—	—
	(相互保有株式) 普通株式 95,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 281,230,400	2,812,304	—
単元未満株式	普通株式 147,034	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	294,674,634	—	—
総株主の議決権	—	2,812,304	—

② 【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) アイシン精機㈱※	愛知県刈谷市朝日町2丁目 1番地	13,202,200	—	13,202,200	4.48
(相互保有株式) 豊明木工㈱	愛知県刈谷市野田町場割8 丁目1番地	95,000	—	95,000	0.03
計	—	13,297,200	—	13,297,200	4.51

(注) ※ 当社所有の自己株式は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく取締役会決議による自己株式の取得、会社法第163条の規定に基づく子会社からの自己株式の取得および単元未満株式の買取請求によるものです。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しています。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)および当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	262,987	237,395
受取手形及び売掛金	254,499	269,849
有価証券	149,997	111,657
商品及び製品	71,309	72,508
仕掛品	40,089	38,637
原材料及び貯蔵品	37,953	39,314
その他	117,294	124,464
貸倒引当金	△307	△324
流動資産合計	933,825	893,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	242,728	242,543
機械装置及び運搬具（純額）	274,485	267,499
工具、器具及び備品（純額）	26,921	26,089
土地	113,019	113,770
リース資産（純額）	962	864
建設仮勘定	35,490	40,739
有形固定資産合計	693,608	691,507
無形固定資産	15,107	15,423
投資その他の資産		
投資有価証券	262,308	264,501
その他	73,842	75,416
貸倒引当金	△467	△463
投資その他の資産合計	335,683	339,455
固定資産合計	1,044,399	1,046,385
資産合計	1,978,225	1,939,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	276,310	245,461
短期借入金	25,573	29,786
1年内償還予定の社債	10,063	10,063
引当金	21,544	19,369
その他	242,537	244,712
流動負債合計	576,029	549,394
固定負債		
社債	70,275	70,251
長期借入金	292,639	283,404
退職給付引当金	91,948	92,715
その他の引当金	6,099	5,081
その他	23,529	25,691
固定負債合計	484,491	477,143
負債合計	1,060,521	1,026,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,049	45,049
資本剰余金	58,836	58,841
利益剰余金	603,195	595,543
自己株式	△20,784	△20,761
株主資本合計	686,296	678,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,594	51,294
繰延ヘッジ損益	△1,358	△1,398
為替換算調整勘定	△48,713	△42,761
その他の包括利益累計額合計	522	7,135
新株予約権	2,143	2,365
少数株主持分	228,741	225,177
純資産合計	917,704	913,351
負債純資産合計	1,978,225	1,939,889

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	569,613	457,060
売上原価	481,245	419,446
売上総利益	88,368	37,613
販売費及び一般管理費	45,307	42,416
営業利益又は営業損失(△)	43,061	△4,803
営業外収益		
受取利息	188	401
受取配当金	1,310	1,608
持分法による投資利益	2,145	1,573
その他	4,793	3,505
営業外収益合計	8,438	7,090
営業外費用		
支払利息	1,488	1,393
その他	1,874	2,365
営業外費用合計	3,362	3,758
経常利益又は経常損失(△)	48,136	△1,471
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	48,136	△1,471
法人税等	16,692	△1,474
少数株主損益調整前四半期純利益	31,444	2
少数株主利益	9,906	618
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,538	△615

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,444	2
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,342	649
繰延ヘッジ損益	△185	△42
為替換算調整勘定	3,354	7,745
持分法適用会社に対する持分相当額	△518	△155
その他の包括利益合計	△12,692	8,196
四半期包括利益	18,751	8,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,199	5,997
少数株主に係る四半期包括利益	10,551	2,201

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成23年4月1日
 至 平成23年6月30日)

(会計方針の変更)

「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間から、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しています。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しています。

なお、1株当たり情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成23年4月1日
 至 平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	34,358百万円	31,157百万円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 配当に関する事項
配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	5,629	20	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成22年3月31日 残高 (百万円)	45,049	58,831	546,218	△20,783	629,315
四半期連結累計期間中の変動額					
剰余金の配当			△5,629		△5,629
四半期純利益			21,538		21,538
自己株式の取得				△11	△11
自己株式の処分		0		0	0
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)	—	0	15,908	△10	15,898
平成22年6月30日 残高 (百万円)	45,049	58,831	562,126	△20,793	645,214

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 配当に関する事項
配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月21日 定時株主総会	普通株式	7,036	25	平成23年3月31日	平成23年6月22日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成23年3月31日 残高 (百万円)	45,049	58,836	603,195	△20,784	686,296
四半期連結累計期間中の変動額					
剰余金の配当			△7,036		△7,036
四半期純損失(△)			△615		△615
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		5		25	30
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)	—	5	△7,652	23	△7,623
平成23年6月30日 残高 (百万円)	45,049	58,841	595,543	△20,761	678,673

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	208,662	30,185	209,584	92,112	540,544	29,068	569,613
セグメント間の 内部売上高	68,049	23,102	948	6,552	98,653	10,931	109,585
計	276,712	53,287	210,533	98,664	639,198	40,000	679,198
セグメント利益	16,256	3,707	17,750	3,502	41,217	1,462	42,679

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	41,217
「その他」の区分の利益	1,462
セグメント間取引消去	242
その他の調整額	139
四半期連結損益計算書の営業利益	43,061

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	163,557	27,562	169,447	73,173	433,741	23,319	457,060
セグメント間の 内部売上高	47,425	16,428	5,721	5,084	74,658	9,838	84,497
計	210,982	43,990	175,168	78,258	508,400	33,157	541,558
セグメント利益又は 損失(△)	△5,007	547	177	△212	△4,495	△687	△5,182

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△4,495
「その他」の区分の損失(△)	△687
セグメント間取引消去	407
その他の調整額	△27
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,803

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)	76円53銭	△2円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益 又は四半期純損失(△) (百万円)	21,538	△615
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失(△) (百万円)	21,538	△615
普通株式の期中平均株式数 (千株)	281,429	281,447
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	—
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1 「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

これにより、前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

また、これらの会計基準等を適用しなかった場合の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、76円51銭です。

2 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月9日

アイシン精機株式会社
取締役会御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 西川 浩 司
業務執行社員

指定社員 公認会計士 山本 房 弘
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアイシン精機株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アイシン精機株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月9日
【会社名】	アイシン精機株式会社
【英訳名】	AISIN SEIKI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 藤森 文雄
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長 藤森 文雄 は、当社の第89期第1四半期（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。